



JRC登録式「気づき 考え 実行する」



4月15日(月)にJRC登録式が行われました。6年生が1年生に青少年赤十字のワッペンをつけてあげ、1年生も青少年赤十字の一員に仲間入りをしました。1年生から順番に誓いの唱和を行い、体の大きさに比例して、声もどんどん大きくなっていきました。最後の6年生は、全校児童の模範となる心のこもった力強い声を響かせました。さすが6年生、常磐小のリーダーとしての役割を十分に発揮しています。



さて、赤十字の始まりは、スイスのアンリー・デュナンが国際的な救護団体の必要性を訴えたことによります。1864年にヨーロッパの12か国によって発足し、スイスに敬意を表して、スイスの国旗の赤と白を逆にした「白地に赤い十字」のマークとなりました。その後、1877年に、日本赤十字社の前身である博愛社が創設されました。その創設者の大給恒(おぎゅうゆずる)は、三河の国奥殿藩(おくとのはん)の藩主で、今もなお岡崎市の奥殿陣屋(おくとのはん)には、彼の業績を示す資料が展示され、彼の生き方・考え方を知ることができます。郷土の偉人から学ぶ機会を増やしていきたいですね。



退任式 常磐への熱い思い



退任式では、お世話になった5名の先生方から、常磐小での思い出や激励の言葉、常磐っ子の未来に向けての願いなど、素敵なお話をたくさんいただきました。退任された先生たちの分まで、学校生活や家庭生活、地域活動に精一杯取り組むことが、最大の恩返しになると思います。みんなの頑張りが届くといいな。

★山崎彰伯教頭先生…毎朝、子供たちの安全を最優先し交通指導をしたり、学校と保護者や地域の方々との連携を図ったりし、子供の学校生活がうまくいくよう尽力されました。

★伊藤祐二先生…校務主任として子供たちの学習環境を整えるのに加え、学級担任として子供たちの学力を伸ばしたり、心の成長を図るよう心に響く話をされたりしました。

★原田早希先生…明るく笑顔いっぱい、子供が楽しく学べるよう授業を工夫したり元気よく一緒に遊んだりしました。ソフト部顧問として自身の経験を生かし力を発揮されました。

★大西樹里先生…笑顔を絶やさず、子供たちの健康や安全を第一に考えて、保健活動に全力を尽くされました。音楽部顧問としても歌や楽器の演奏を熱心に教えてくださいました。



★杉原蓮先生…若さに満ち溢れ、子供と一緒に楽しく元気に授業を進めました。バレー部顧問として、技能の上達を目指し全力でサポートされました。

★大橋伸也先生…通級担当として個に寄り添った関係づくりをされました。

★ジョナホンダ先生…子供が英語を身近に感じるよう授業を行い、掲示物も作られました。

★境江美先生…学校の環境を整えたり、子供たちに温かく接して下さったりしました。